

\* 山上の説教とは

イエス様はマタイ 5-7 章にかけて弟子たちに「天の御国の民としての正しい生き方について」教えられました。つまり天の御国に入る約束を与えられた私たちクリスチャンに向けて語られている説教でもあります。そしてこれは信仰の土台、生き方の基本です。またイエス様はまだクリスチャンでない方にもこの幸いな生き方を語られていました。クリスチャンであろうとなかろうとみことばを聞く全ての方と共にイエス様の教えてくださった幸いを知っていただきたいと願っています。

\* 幸いシリーズを学ぶにあたって覚えておきたい3つのこと

- ①だれでも天の御国の民としての生き方ができる。
- ②天の御国の民の生き方は教会のための教えでもある。
- ③天の御国の民の生き方は宣教につながる。

\* 心の貧しい者

イエス様がいう心の貧しい者というのは自分がどれだけ無力であるかを知っている人。それゆえに自分には神様以外に頼るものが何もない。「わたしはあなたの助けなしには生きてはいけません。」と切に願っている人のことです。自分を振り返る中で自分が本当の意味での心の貧しい者となれていないと思うことがあります。心の貧しい者になるということ自体も自分で努力しようとして、なれていない私がいることにも気づかされます。だからこそ私たちには神様の助けが必要です。自分でしようとしていることを神様におゆだねして、また心の貧しい者としてくださいと祈っていきたくて願います。

\* 天の御国はその人たちのものだから

私たちはやがて天の御国に入れられます。しかしイエス様はすでに神の国は私たちに与えられていると言われています。(ルカ 17:21)この地上にあっても天の御国はすでに私たちに与えられているという約束です。私たちはまだ天国には入っていないけども今、天国の素晴らしさ、その祝福、その幸いをこの地上で味わえる。天の御国を体験することのできる特権にあずかっているということです。

\* さいごに

私たちはイエス様が教えてくださった心の貧しい者としての生き方をさせていただきたいと思えます。天の御国が私たちのものであるということを確認していきたくて思えます。そして主によりたのみながら天の御国に入るその日まで喜び楽しみつつ主の幸いの中に生きる私たちとならせていただきたいと願います。